

感染経路は2つ！これを防ごう！

①マスクをしていない感染者
のくしゃみ・咳を浴びる

②自分の手から感染する
(口や目を触る、飲食する)

感染経路① 飛沫感染



対策：マスクをして話す

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば）と一緒にウイルスが放出され、他の人がそれを吸い込んで感染します。ウイルス自体の粒子径は $0.1\sim 0.2\mu\text{m}$ ですが、咳やくしゃみではウイルスに水分やほこりが付着し、粒子径は $5\mu\text{m}$ 以上と大きくなるため、短い距離に落下し、空間をただようことはありません。

この飛沫を飛ばさないために、人と話す場合には必ずマスクをすることが必要です。

人に移さないための最低限のルールで、これによって飛沫は大部分を防ぐことができます。

※空気感染：飛沫の水分などが蒸発し、小さなウイルスだけが空気中に浮遊する状態からの感染。
飛沫・接触感染に比べ、体内に入るウイルス量は少なく、換気で効果的に対応可能とされる。

感染経路② 接触感染



対策：その手でウイルスを食べない

マスクを前提として、こちらの方を意識的に警戒すべきです。これは自分で対策が可能です。

ウイルスの移動 ①感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、周りの物に触れる

⇒②他の人がそれを触る。 ⇒③その手で目/鼻/口を触る。 ⇒ ④粘膜から感染する。

徹底したいのは、**手を洗った直後以外は、目/口/鼻に触れない&飲食しないこと**です。



マスクを外すときは、マスク前面に触れず耳のゴムから外してください。

そもそもウイルスに触れないことは不可能だという前提で行動してください。

ウイルスを覆う「エンベロップ」という脂質でできた膜を破壊すると感染性が失われます。

「せっけんを使って 20 秒以上手洗い」が理想的で、次点が「70 度以上のアルコールで丁寧にもむ」ことです。

自習席使用のルール

接触感染の可能性を下げるため、必ず守ってください。

①ご利用の前と後に、ウェットティッシュで机を拭くこと。塾の各場所に置いております。

②自習席利用時も、必ずマスクを着用すること。会話は必要最低限とすること。

保健所の指導により、これらの対策を徹底することで、塾における感染経路はかなり限定されます。

なお、どなたかが陽性（又は濃厚接触者）となった場合には、その方に対して濃厚接触者となりうる生徒さんには、一定期間通塾を控えていただく対応を行います。感染防止対策の徹底にご協力をお願い致します。